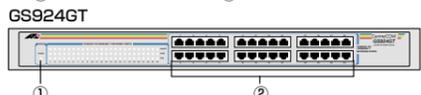
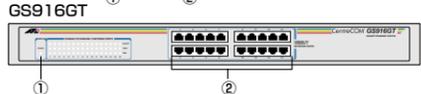
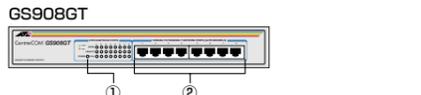




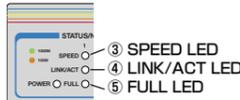
## 4 各部の名称と機能



- POWER LED
- 100BASE-TX/1000BASE-Tポート

図1 外観図(前面)

### LED (GS908GT)



### LED (GS916GT/GS924GT)

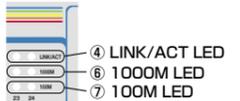
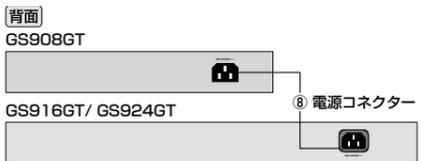


図2 外観図(LED拡大図)



### 側面 (GS916GT/GS924GTのみ)



図3 外観図(背面、側面)

- POWER LED (緑)**  
本体に正常に電源が供給されているときに点灯します。
- 100BASE-TX/1000BASE-T ポート**  
UTPケーブルを接続するためのコネクタです。
- SPEED LED (GS908GTのみ 緑/橙)**  
ポートが1000Mbpsで動作しているときには、緑色に点灯し、ポートが100Mbpsで動作しているときには、橙色に点灯します。
- LINK/ACT LED (緑)**  
ポートと接続先機器がリンクした時に点灯します。また、パケットを送受信しているときに点滅します。
- FULL LED (GS908GTのみ 緑)**  
ポートがFull Duplexで動作しているときに点灯し、Half Duplexで動作しているときには消灯します。
- 1000M LED (GS916GTおよびGS924GT 緑)**  
ポートが1000Mbpsで動作しているときに点灯します。
- 100M LED (GS916GTおよびGS924GT 緑)**  
ポートが100Mbpsで動作しているときに点灯します。
- 電源コネクタ**  
電源ケーブルを接続するためのコネクタです。
- ファン (GS916GTおよびGS924GT)**  
内部の熱を逃がして、空気の循環をよくするためのものです。

## 5 設置

本製品の設置を始める前に、必ず「安全のために」をよくお読みください。

## 設置方法

本製品は、次の方法による設置ができます。

- ゴム足による水平方向の設置
  - ラックマウントキットによる 19 インチラックへの水平方向の設置
- また、GS908GTは、次の2つの方法による壁面への設置ができます。
- マグネットキットによるスチール面への設置
  - タッピングスクリーによる壁面への設置



弊社指定品以外の設置金具を使用した設置を行わないでください。また、本書に記載されていない方法による設置を行わないでください。不適切な方法による設置は、正常な放熱ができなくなり、火災、故障の原因となります。

水平方向以外に設置した場合、「取り付け可能な方向」であっても、水平方向に設置した場合に比べほこりがたまりやすくなる可能性があります。定期的に製品の状態を確認し、異常がある場合には直ちに使用を止め、弊社サポートセンターにご連絡ください。

## 設置準備

### ● 設置するときの注意

本製品を設置する場所を確認してください。設置場所については、次の点にご注意ください。

- 電源ケーブルや各メディアのケーブルに無理な力が加わるような設置はさけてください。
- テレビ、ラジオ、無線機などのそばに設置しないでください。
- 傾いた場所や、不安定な場所に設置しないでください。
- 底部を上にして設置しないでください。
- 十分な換気ができるように、本製品の通気口をふさがないように設置してください。
- 本体の上にものを置かないでください。
- 直射日光のあたる場所、多湿な場所、ほこりの多い場所に設置しないでください。
- 本製品は屋外ではご使用になれません。
- コネクタの端子にはさわらないでください。(静電気を帯びた手(体)でコネクタの端子に触れると、静電気の放電により故障の原因となります。)

## 設置

本製品は、デスクトップなど平らなところおよび 19 インチラックに取り付けて使用できます。

### ● 平らなところに設置する(ゴム足を取り付ける)

本製品をデスクの上などに設置して使用する場合は、本体底面の四隅にある□型の枠に同梱のゴム足を貼り付けてください。ゴム足は本体を固定し、衝撃を吸収するクッションの役目をしますので、本製品をデスクの上などに設置する場合は、必ずゴム足を使用してください。

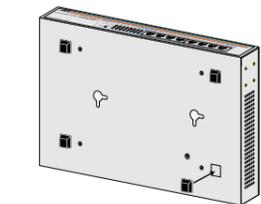


図4 ゴム足の取り付け

### ● 19 インチラックに取り付ける

本製品は、同梱の専用 19 インチラックマウントキットを使用して、EIA 規格の 19 インチラックに収容できます。

#### 1. 電源ケーブルや各メディアのケーブルをはずす

#### 2. 本体にブラケットを取り付ける

同梱の 19 インチラック取り付け用のブラケットを付属のネジを用いて、本体両側にしっかりと固定してください。



図5 ブラケットの取り付け

### 3. 19 インチラックに取り付ける

19 インチラックの希望する位置に本体を合わせ、適切なネジ(別途ご用意ください)でしっかりと固定してください。

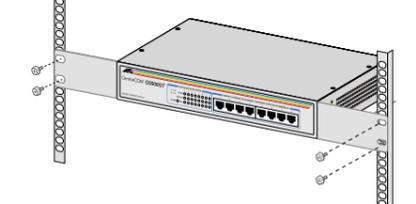


図6 19 インチラックへの取り付け

## 壁面への設置 (GS908GT)

GS908GTは壁面への設置が可能です。同梱のマグネットキットを使用する方法と、ウォールマウント用タッピングスクリー(必要の場合は、プラスチックアンカー)を使用する方法があります。



水平方向以外に設置した場合、「取り付け可能な方向」であっても、水平方向に設置した場合に比べほこりがたまりやすくなる可能性があります。定期的に製品の状態を確認し、異常がある場合には直ちに使用を止め、弊社サポートセンターにご連絡ください。

### ● マグネットキットによる設置

GS908GTは、同梱のマグネットキットを使用して、OA デスクの横などのスチール壁面に設置することができます。

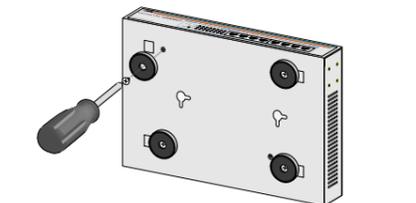


図7 マグネットキットの取り付け

マグネットおよびマグネット取付用のネジはGS908GTに付属のものを使用してください。

マグネット用のネジ穴は、ゴム足取り付け場所の内側にあるネジ穴を使用してください。

ゴム足とマグネットキットは同時に使用することはできません。

マグネットキットを使用して壁面に設置する場合は、必ず下図の○の方向に設置してください。



図8 マグネットキットを使用する場合の設置方向



必ず○の方向に設置してください。それ以外の方向に設置すると、正常な放熱ができなくなり、火災、故障の原因となります。

### マグネット使用および取り扱い上の注意

取り付けの際は機器およびケーブルの重みにより機器が落下しないように確実に取り付け・設置してください。ケガ・故障の原因になることがあります。

機器をマグネットで高所に取り付けしないでください。落下によるケガ・機器破損の恐れがあります。

振動・衝撃の多い場所や不安定な場所に設置しないでください。落下によるケガ・故障の原因となることがあります。

OA デスク等にマグネットで機器を取り付けたまま、機器をずらさないでください。被着面の塗装などに傷がつく恐れがあります。

マグネットにフロッピーディスクや磁気カードなどを近づけないでください。磁気の影響により記録内容が消去される恐れがあります。

機器をマグネットでパソコンおよびディスプレイなどの電子機器には取り付けしないでください。

設置面の状態によってはマグネットの十分な強度を得られないことがあります。

マグネットの設置面によっては、内部の部品が磁束の影響を受けることで通信に不具合が起こる可能性があります。その際は、マグネット設置面を変更するなどの対応を行ってください。

### ● タッピングスクリーによる設置

GS908GTは、ウォールマウント用タッピングスクリー(必要の場合は、プラスチックアンカー)を使用することにより、壁などの垂直な面に取り付けることができます。

タッピングスクリーを使用して壁面に設置する場合は、必ず下図の○の方向に設置してください。

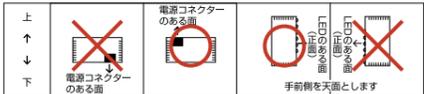


図9 タッピングスクリーを使用する場合の設置方向



必ず○の方向に設置してください。それ以外の方向に設置すると、正常な放熱ができなくなり、火災、故障の原因となります。



取り付けはしっかりした壁に行ってください。手で押ただけでへこんでしまうような壁には取り付けしないでください。

石膏ボード、ベニヤなど中空になっている壁に取り付ける場合は、プラスチックアンカーを併用してください。

タッピングスクリーは M3 を使用してください。なお、本製品には、壁面設置用タッピングスクリーおよびプラスチックアンカーは同梱されていません。使用の際は、お客様にてご用意ください。

### 1. 設置場所と設置方向を決める

電源ケーブルおよびUTPケーブルの接続が可能であること、また、LEDの表示が監視可能であることを確認してください。

### 2. タッピングスクリーをねじ込む

タッピングスクリーの間隔がGS908GT底面にある2箇所(壁面設置穴の間隔と同じになるように)タッピングスクリーをねじ込みます。このとき、ネジと壁の間を1mmほど残してください。

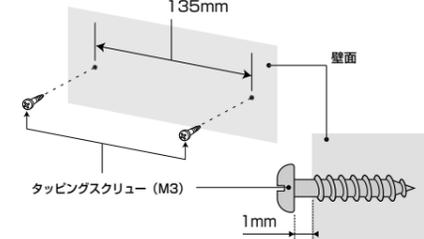


図10 タッピングスクリーの間隔

### プラスチックアンカーの使用について

プラスチックアンカーを使用する場合は、きりやドリルなどで開けた穴に差し込み、かなづちで軽く叩いて壁に埋め込んでください。



穴はプラスチックアンカーが入る程度の大きさにしてください。穴が大きすぎると落下の原因となります。

### 3. 壁に取り付ける

壁から突き出ているネジ頭をGS908GT底面の取り付け穴にさし込むようにして取り付けます。このとき、ネジ頭がスロットにはまるまでGS908GT本体をスライドさせ、しっかりと固定してください。

ネジ頭を壁から出し過ぎた状態にてご使用になりますと、GS908GTを壁に取り付けた際に製品内部に干渉し、故障の原因となります。

## 6 接続

### ネットワーク機器の接続

#### ● 接続ケーブル

UTPケーブルを使用して本製品とPCなどの端末を接続します。本体のLANポート(RJ-45)にUTPケーブルの一端を接続し、もう一端をネットワークポートに接続します。



UTPケーブルのコネクタ部を持ち、カチッと音がするまで差し込んでください。

#### ● UTPケーブルのカテゴリー

100BASE-TXの場合はカテゴリー5以上、1000BASE-T接続の場合はエンハンスト・カテゴリー5以上のUTPケーブルを使用します。

#### ● UTPケーブルのタイプ

本製品はMDI/MDI-X自動切替機能をサポートしているので、接続先の種類(MDI/MDI-X)を意識することなく、どちらのケーブルタイプ(ストレート/クロス)でも使用できます。

#### ● UTPケーブルの長さ

本製品とネットワーク機器を接続する長さは100m以内にしてください。

### 電源の接続(本製品の起動)

本製品は、電源ケーブルを電源コンセントに接続することで電源が入ります。



本製品をAC100Vで使用する場合は、同梱の電源ケーブルを使用してください。不適切な電源ケーブルや電源コンセントを使用すると、発熱による発火や感電のおそれがあります。



本製品には電源スイッチがありません。電源ケーブルを電源コンセントに接続した時点で電源が入りますので、ご注意ください。

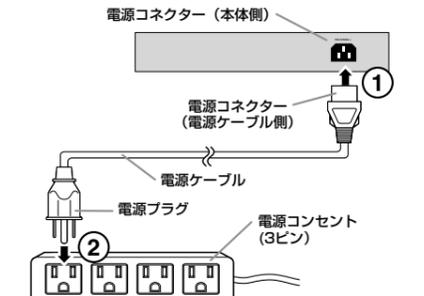


図11 電源ケーブルの接続

#### 1. 本体側の電源コネクタを接続する

図11の①をご覧ください。

#### 2. 電源プラグを電源コンセントに接続する

図11の②をご覧ください。

このとき、本体のPOWER LED(緑)が点灯することを確認してください。UTPケーブルが正しく接続され、接続先機器とのリンクが確立されると、接続したポートのLINK/ACT LED(緑)が点灯します。

### ● 本製品の停止

本製品を停止するには、電源コンセント側のプラグを抜いてください。



電源を抜くときには本体側の接続を先に抜かないでください。感電事故を引き起こすおそれがあります。



電源をオフしてから再度オンにする場合は、しばらく間をあけてください。

## 7 構成

本製品はスタンドアロンでご使用いただけるほか、下図の通りカスケード接続でもご使用いただけます。

## カスケード接続

本製品はMDI/MDI-X自動切替機能をサポートしていますので、接続先の種類(MDI/MDI-X)を意識することなく、どちらのケーブルタイプ(ストレート/クロス)でも使用できます。



スイッチ同士のカスケード接続は、カスケードできる数に理論上の制限がありません。そのため、用途に合わせてネットワークを拡張することができます。

カスケードの段数はネットワーク上で動作しているアプリケーションのタイムアウトによって制限される場合があります。

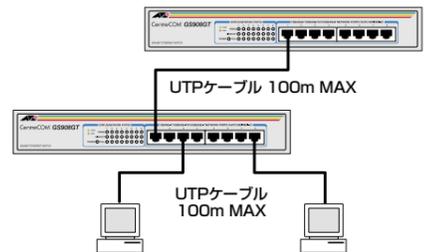


図12 カスケード接続の例

## 8 設定

### 通信速度/通信モードの設定

本製品と接続先機器の通信モードは、次の表の○印の組み合わせになるように設定してください。

IEEE 802.3u 規格のオートネゴシエーション機能をサポートしていない製品と本製品を接続する場合は、接続先機器のポートの通信モードをHalf Duplexに設定してください。

		自ポート GS908GT/GS916GT/ GS924GT
接続先ポート	Half	○
	Full	—
100M	Auto	○
1000M	Auto	○

## 9 トラブルシューティング

「通信できない」とか「故障かな?」と思われる前に、以下のことを確認してください。

#### ● POWER LEDは点灯していますか?

POWER LEDが点灯していない場合は、電源ケーブルに断線がないか、電源ケーブルが正しく接続されているか、正しい電源電圧のコンセントを使用しているかなどを確認してください。

#### ● 電源を停止後、すぐに起動していませんか?

電源を停止してから再度起動する場合は、しばらく間をあけてください。

#### ● LINK/ACT LEDは点灯していますか?

LINK/ACT LEDは接続先機器と正しく接続されている場合に点灯します。点灯しない場合、以下のことを確認してください。

○ 接続先機器に電源が入っていることを確認してください。接続先機器が障害がなく通信可能な状態にあることを確認してください。

○ 正しいUTPケーブルが断線なく正しく接続されていることを確認してください。

○ UTPケーブルの長さが制限を越えていないことを確認してください。

2つのネットワーク機器の直接リンクを形成するUTPケーブルは最長100mと規定されています(ただし、クラスⅡのリピーターをカスケード接続する場合のリピーター間は5m以内としてください)。

○ ケーブルを別のポートに差し替えて、正常に動作するか確認してください。

特定のポートが故障している可能性もあります。